

## 令和6年度事業報告書

### 【公益事業】

#### 1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方など重視し、指導に当たった。

令和6年度の学校講道館の生徒数について、令和4年度、令和5年度を挙げて令和6年度と比較した。

(生徒数の変遷)

学校講道館の生徒数の推移は以下のとおり。

(名)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
柔道普通科	72	68	96
柔道特修科	58	53	62
柔道補習科	9	7	7
柔道研修科	22	22	22
柔道国際科	41	54	49
合 計	202	204	236

#### 2. 講道館道場における柔道の指導教授

##### (1) 道場における指導

延170名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育・発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけではなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。

(指導員・講師)

道場における修行者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、鍊成部指導員、成年部指導員、女子部指導員及び大阪道場指導員を選任、学校講道館では少年部講師、男子部講師、女子部講師及び国際科講師を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。

(稽古時間及び指導時間)

(本館)

(大阪)

ア. 一般稽古

午後 6:00-8:00

平日	男子	午後 6:00-8:00
	女子	午後 6:00-7:30
土曜	男子	午後 6:00-7:30
	女子	平日に同じ

イ. 少年指導

第1班	午後 4:30-6:00	1部	午後 5:00-6:00
第2班	午後 6:00-7:30	2部	午後 6:00-7:30

ウ. 「形」指導

形研修	毎月1回土曜日	午後 3:30-5:30
	毎週火曜日・木曜日	午後 5:00-7:00

##### (2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、適宜研修会を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1回の形研修を実施した。

### (3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において 10 日間（延参加者数 1,580 名 申込者数 197 名 皆出席者数 94 名）、大阪国際柔道センターにおいて 6 日間（延参加者数 351 名 皆出席者数 6 名）実施した。

寒稽古は、講道館本館において 10 日間（延参加者数 1,884 名 申込者数 333 名 皆出席者数 147 名）、大阪国際柔道センターにおいて 6 日間（延参加者数 527 名 皆出席者数 60 名）実施した。

### (4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 — 年間 14 回実施し、合計 1,342 名の参加者であった。

○紅白試合 — 年間 4 回実施し、合計 680 名の参加者であった。

春季紅白試合（令和 6 年 6 月 2 日）： 男子 210 名 女子 27 名 少年 31 名 計 268 名  
拔群者 男子 1 名（初段→式段）

秋季紅白試合（令和 6 年 11 月 10 日）： 男子 216 名 女子 21 名 少年 34 名 計 271 名  
拔群者 男子 1 名（参段→四段）

大阪前期紅白試合（令和 6 年 4 月 14 日）： 男子 45 名 女子 16 名 計 61 名  
拔群者 なし

大阪後期紅白試合（令和 6 年 12 月 1 日）： 男子 98 名 女子 11 名 計 109 名  
拔群者 なし

### (5) 朝稽古

昨年に引き続き、朝稽古を講道館本館において、令和 6 年 8 月 19 日から 28 日の 10 日間、実施した。「初心者クラス」「技クラス」「自由稽古」に分かれ練習し、参加人数 103 名（延参加者数 566 名）であった。

## 3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

令和 6 年 8 月 19 日、20 日、長野県「県立武道館」において、全国中学校柔道大会に先立ち、日本中学校体育連盟柔道競技部の各都道府県専門委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催した。講習内容は、「中学校柔道指導者に向けて」及び「国際柔道連盟試合審判規定の考え方について」であった。

## 4. 青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

- (1) 大阪国際柔道センターにおいて「少年少女柔道錬成発表会」を令和 6 年 6 月 8 日（土）に開催した。参加者は 56 名で、保護者等の参観者が 56 名であった。
- (2) 全日本柔道少年団の各地区代表者会議が、令和 7 年 2 月 11 日（火・祝）講道館において開催された。今回は中学校部活動の地域移行を受けて、日本中学校体育連盟柔道競技部の各地区ブロック長も参加した。講習内容は、「偉人から学ぶ 嘉納治五郎師範の柔道普及戦略～変化や異見を力に変える知恵～」と題した講義、「地域と中学校との交流と実態」及び「柔道人口減を食い止めるために」をテーマとした意見交換会、並びに「精力善用国民体育「柔式」」の実技講習であった。

## 5. 青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体会長会議は、例年 2 月に開催していたが、全日本柔道選手権大会の前日に日程を固定したため令和 6 年度は実施しなかった。

## 6. 講習会の開催

### (1) 講道館夏期講習会

柔道夏期講習会第一部を令和 6 年 7 月 13 日から 20 日までの 8 日間実施した。

柔道夏期講習会第二部を令和 6 年 7 月 22 日から 26 日までの 5 日間実施した。

女子柔道夏期講習会を令和 6 年 8 月 5 日から 7 日までの 3 日間実施した。

少年柔道夏期講習会を令和 6 年 8 月 5 日から 7 日までの 3 日間実施した。

教科柔道指導者講習会を令和 6 年 8 月 23 日から 25 日までの 3 日間実施した。

\*附属明細書(1)参照

(2) 講道館講習会

柔道のより一層の普及・振興を図るため、本年度も本館から講師を派遣し講道館講習会を実施した。

派遣先は9カ所、講師は11名であった。

\*附属明細書(2)参照

(3) 講道館形講習会

“形”の普及・振興を図るため、本年度も本館から講師を派遣し講道館形講習会を実施した。

派遣先は10カ所で、講師は39名であった。

\*附属明細書(3)参照

(4) 青少年育成講習会

日本の将来を担う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通した心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」及び道場訪問を7カ所で実施した。

ア. 京都府（東方館）

イ. 大阪府（振武館柔道場）

ウ. 沖縄県（沖縄尚学高等学校）

エ. 沖縄県（与那国柔道クラブ）

オ. 静岡県（大仁田柔道会）

カ. 大分県（精鍊館道場）

キ. 三重県（成徳中学校）

## 7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣について

ア. 本館による短期派遣（1カ国、2名）

イ. 海外柔道連盟等招聘による本館短期派遣（11か国、20名）

ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（5カ国、5名）

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（なし）

オ. 国際交流基金との共催事業による短期派遣（2か国、5名）

カ. 本館以外による派遣（全柔連等）（2カ国、2名）

キ. 国際柔道連盟（IJF）関係諸行事及び大会への派遣（8カ国、15名）

ク. 国際視覚障がい者スポーツ連盟（IBSA）関係等諸行事及び大会への派遣（4カ国、6名）

\*附属明細書(4)参照

(2) 外国人柔道指導者等の主な受入れについて

ア. 全日本選手権大会前後に実施したフランス指導者グループ等を対象とした受入れ

期間： 全日本選手権大会（4月29日）前後に実施

参加者： 約110名

内容： 形・技のプライベートレッスン、講義、一般稽古等

イ. 夏期講習会での受け入れ

期間： 令和6年7月13日～20日（1部）、7月22日～26日（2部）

参加者： 1部31か国125名、2部19か国、150名

ウ. IJFアカデミー（指導者養成）

期間： 令和6年9月23日～9月29日

受講者： 各国指導者49名

エ. 講道館柔道国際セミナー（オセアニア）

期間： 令和7年3月23日～3月30日

参加者： オーストラリア、ニュージーランド、（フィリピン）計14名

オ. 柔道体験等

サンディエゴ州立大学（51名） 令和6年6月10日

JICA課題別研修「スポーツ行政／スポーツ振興」（8名） 令和6年10月9日

大志塾（日本空手協会）（16名） 令和7年2月11日

- 外務省在日米軍日本文化体験プログラム（20名） 令和7年3月12日
- カ. プライベートレッスン  
年間を通して形、技術指導等のプライベートレッスンを実施した。
- 16 グループ（271名）
- キ. その他来館者（デモンストレーション、表敬訪問等）  
ハンガリースポーツ大学（4名） 令和7年2月8日  
ウクライナ、マニナ・デネシウク次官（3名） 令和7年2月26日
- (3) 国際協力機構（JICA）海外協力隊に関わる事業等  
ア. JICA 海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）を以下の通り実施した。  
① 期間：令和6年11月11日～11月15日  
受講者：2024年度2次隊研修生2名  
イ. 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員  
令和7年3月31日現在で赴任中の隊員は計8名であった。  
※附属明細書(5)参照
- (4) 柔道器材支援  
本年度の柔道器材支援として柔道衣の寄贈、提供はなし

#### 8. 調査研究

講道館柔道科学研究会にて歴史、技術、体力、心理、指導法を研究した論文を収録し、『講道館柔道科学研究会紀要』第20輯を発行した。

#### 9. 図書、雑誌等の編集発行

機関誌である雑誌「柔道」（月刊誌）を毎月発行した。内容は、柔道関係者・有識者の巻頭言、アーカイブス、館長問答、講道館行事・事業の報告、講道館主催の講習会、国際部短信、国内外の主要大会、全柔連のページ、各地だより、海外だより、学柔連のページ、柔道少年団のページ、昇段者、月次試合、柔道界展望台等であり、広く国内および海外に配付して柔道の普及発展に寄与した。

#### 10. 文献資料の収集保存及び展示

- (1) 資料館  
ア. 資料の保存環境の向上  
定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。  
イ. 入館者数 7,544名（前年度比 1,849名増）  
国内男性 1,021名、国内女性 483名  
海外男性 3,974名（前年度比 1,076名増）、海外女性 2,072名（前年度比 584名増）  
資料館の開館時間を11:00～18:00に変更及びインバウンドの増が、入館者数増加の一因。  
来館し、案内を行ったグループは全体で 65 グループ、海外からのグループは 26 グループであった。学校関係は、5 グループが来館し、案内を行った。（事前申請あり・なし混在）  
ウ. 資料収集の促進 寄贈受入 4点  
エ. 大会開催日等における休日開館  
実施日：全国高段者大会（4月28日）全日本形競技大会（6月1日）紅白試合（6月2日）  
生誕祭（10月27・28日）鏡開式（1月14日）
- (2) 図書館  
ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供  
蔵書数は和書 6,205 冊、洋書 1,653 冊の合計 7,858 冊となった。  
① 和書 40 冊  
② 洋書 15 冊  
③ 映像資料 7 点

#### ④ その他 4 点

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 79 点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

##### ① 寄贈

・「柔道」講道館, 95 卷 4-12 号, 96 卷 1-3 号

・「月刊武道」日本武道館, 2024 年 4-12 月, 2025 年 1-3 月

##### ② 購入

・「武道学研究」（令和 6 年度分）

・「体育学研究」（同上）

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 40 件（研究者、学生、マスコミ関係者、一般等）

オ. 図書館利用者数 377 名（前年度比 122 名増）

国内男性 148 名、国内女性 37 名、海外男性 143 名、海外女性 49 名

### 11. 國際大会及び国内大会の開催

#### (1) 全国柔道高段者大会

令和 6 年 4 月 28 日（日）に開催した。参加者数は、八段 24 名、七段 180 名、六段 411 名、五段 496 名、女子 39 名、合計 1150 名であった。昨年と比較して参加者は 203 名の増加となった。

#### (2) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の事業として、令和 6 年 4 月 29 日（月・祝）に日本武道館において開催した。本大会は、全国 10 地区から選出された 40 名、前年度優勝者、準優勝者等の推薦選手の 2 名を加えた計 42 名による大会となった。今大会は、原則として国際柔道連盟試合審判規程で実施するものの、ゴールデンスコア方式を排し、8 年ぶりに試合時間終了後、暁の上に上がった 3 人の審判による判定で試合を決する独自の「申し合わせ事項」によって実施された。

#### (3) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の事業として、令和 6 年 4 月 21 日（日）に横浜武道館において開催した。前年度準優勝者等の推薦 2 名と全国 10 地区選出 34 名を合わせた計 36 名が出場した。

#### (4) 全国少年柔道大会

本大会は、令和 6 年 5 月 4 日（土・祝）合同錬成、5 日（日・祝）大会を講道館大道場において開催した。全国 47 都道府県から各 1 チーム（東京都は 2 チーム）の 48 チームが参加した。試合は団体戦のみで、3 チームによる予選リーグを行い、勝ち上がった 16 チームにより決勝トーナメントで優勝を競った。

#### (5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟共催の事業として、令和 6 年 6 月 1 日（土）に講道館大道場で開催した。本大会は、投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の 7 種目が行われ、全国の 10 地区代表 67 組、推薦枠 6 組および全国枠 14 組の合計 87 組が出場した。

### 12. 段位認定

#### (1) 入門者（外国人を含む）

令和 6 年度の入門者は 15,259 名で昨年度に比べ 1,280 名の減となった。

過去 10 年の入門状況は次のとおりである。

年度	入門者数(名)	前年比(名)	年度	入門者数(名)	前年比(名)
H27	20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986	-495	R2	11,073 (男子) 8,533 (女子) 2,540	-5,700 (-34.0%)

H28	19,689 (男子) 15,879 (女子) 3,810	-697 (-3.4%)	R 3	13,593 (男子) 10,350 (女子) 3,243	+2,520 (+22.8%)
H29	21,273 (男子) 16,917 (女子) 4,356	+1,584 (+8.0%)	R 4	15,297 (男子) 11,870 (女子) 3,427	+1,704 (+12.5%)
H30	18,775 (男子) 14,819 (女子) 3,956	-2,498 (-11.7%)	R 5	16,539 (男子) 12,652 (女子) 3,887	+1,242 (+8.0%)
R元	16,773 (男子) 13,175 (女子) 3,598	-2,002 (-10.7%)	R 6	15,259 (男子) 11,610 (女子) 3,649	-1,280 (-7.7%)

## (2) 外国人入門者

令和6年度の外国人入門者は、84(前年度比+4)の国・地域から男子1,252(同+165)名、女子352(同±0)名の合計1,604(同+165)名であった。

## (3) 昇段者

令和6年度の昇段者は合計19,375名で昨年度に比べ1,977名の減となった。

過去10年の昇段状況は次のとおりである。

※最高審議会を含む

年度	昇段者数(名)	前年比(名)	年度	昇段者数(名)	前年比(名)
H27	27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927	-418 ※369名	R 2	19,274 (男子) 15,314 (女子) 3,960	-3,964 (-17.1%)
H28	26,846 (男子) 22,042 (女子) 4,804	-1,142 (-4.1%)	R 3	19,742 (男子) 15,510 (女子) 4,232	+468 (+2.4%) ※341名
H29	28,488 (男子) 23,278 (女子) 5,210	+1,642 (+6.1%) ※389名	R 4	20,255 (男子) 15,956 (女子) 4,299	+513 (+2.6%)
H30	25,070 (男子) 20,218 (女子) 4,852	-3,418 (-12.0%)	R 5	21,352 (男子) 16,751 (女子) 4,601	+1,097 (+5.4%) ※260名
R元	23,238 (男子) 18,790 (女子) 4,448	-1,832 (-7.3%) ※374名	R 6	19,375 (男子) 15,068 (女子) 4,307	-1,977 (-9.3%)

## 13. 合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる際に、参加者及び指導者・運営役員等に対して新館3階ホステルを安価で提供している。

令和6年度の利用者数は、延総数9,468名であり、昨年度の利用者数8,752名と比較して716名増加した。

## 【収益事業】

### 14. 物品販売

柔道関係の書籍・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

#### (1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、  
昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、講道館柔道試合審判規定、百三十年沿革史、  
嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

#### (2) DVD

形：投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形  
激闘の轍（昭和編）・（平成編）

#### (3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、段証書用額（大・小）、段マーク、色紙（精力善用 自他共栄）、師範遺訓額（和文、英文付き、和文〈小〉）、並バッジ（蝶ピン／ネジ／安全ピン）、絵葉書

#### (4) 刊行物

カレンダー

#### (5) その他

講道館マーク使用料 2 件  
売店手数料収入 1 件

### 15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、医院、事務所、駐車場等として賃貸した。概要については下記の通り。

#### (1) 貸室

講道館本館 7 階	歯科医院
本館 6 階	医院
本館 5 階	事務所
本館 4 階	事務所
本館 2 階	事務所
新館 1 階	小売店
新館地下 1 階	飲食店
大阪国際柔道センター 3 階	事務所
1 階	飲食店

#### (2) 駐車場

講道館	8 台（月極）
	20 台（インターネット予約サブ）
大阪国際柔道センター	8 台（月極）

#### (3) 自動販売機、その他（ロッカー、コインラントリー等）サービス

## 事業報告書一附属明細書

### (1) 夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子三段以上	柔道高段者の資質の向上	令和6年7月13日～20日	220 (124)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	令和6年7月22日～26日	267 (224)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	令和6年8月5日～7日	56 (39)
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	令和6年8月5日～7日	111 (90)
教科柔道	柔道指導者及び 教科柔道指導者	指導法の学習	令和6年8月23日～25日	26 (25)
計				680名 (502名)

### (2) 講道館講習会

	日 時	主 催	会 場	内 容	講 師
1	令和6年5月 3日(金祝)	福島県柔道連盟	須賀川市武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の 解説と実技指導	岩村 衡
2	令和6年6月 23日(日)	高知県柔道協会	高知県立武道館	「柔の形」及び「講道館護身術」	小志田憲一 秋山日向子
3	令和6年8月 19日(月)	日本中学校体育 連盟	長野県立武道館	中学校柔道指導者に向けて	鮫島 元成
	令和6年8月 20日(火)			国際柔道連盟試合審判規定の 考え方について	高橋 健司
4	令和6年9月 14日(土)	中央区柔道会	中央区立総合 スポーツセンター	「柔道理論」	津村 弘三
5	令和6年11月 3日(日)	台東区柔道会	台東リバーサイド スポーツセンター	「柔道の技」解説と指導	南保 徳双
6	令和6年11月 9日(土)	長野県柔道連盟	長野県立武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の 解説と実技指導	岩村 衡
7	令和6年12月 8日(日)	札幌柔道連盟	札幌市中島体育 センター	「投の形」	藤中 拓馬
8	令和7年2月 11日(火祝)	全日本柔道 少年団	講道館新館 2階教室	中学校授業、部活動地域移行のた めの「日本伝講道館柔道指導法」	桐生 習作
			講道館女子部道場	講道館柔道文化会から全日本柔道 少年団に受け継がれる師範の思い	桐生 習作
9	令和7年3月 1日(土)	秋田県柔道連盟	秋田県立武道館	「柔道の技」解説と指導及び女子 柔道の普及に向けた講義	秋山日向子

(3) 講道館形講習会

	日時	主催	会 場	講師・形			
1	令和6年4月 14日(日)	中国	鳥取県立 武道館	投の形	固の形	極の形	古式の形
				大島修次	眞喜志慶治	向井幹博	松井勲
2	令和6年5月 6日(月祝)	東北	秋田県立 武道館	固の形	極の形	柔の形	古式の形
				下山陽邦	南保徳双	鮫島元成	宗義明
3	令和6年5月 18日(土)	近畿	講道館大阪	投の形	固の形	極の形	柔の形
				横山喬之	山本三四郎	道場良久	内海まゆみ
4	令和6年5月 25日(土)	北海道	北海道立総合 体育センター	投の形	柔の形	講道館護身術	五の形
				南保徳双	灰原茉美	有川勇貴	小志田憲一
5	令和6年6月 9日(日)	九州 (北部)	福岡武道館	投の形	柔の形	講道館護身術	古式の形
				藤中拓馬	灰原茉美	眞喜志慶治	松井勲
6	令和6年9月 7日(土)	東京	講道館	極の形	柔の形	講道館護身術	
				道場良久	秋山日向子	下山陽邦	
7	令和6年9月 14日(土)	北信越	福井県立 武道館	投の形	柔の形	講道館護身術	五の形
				大島修次	秋山日向子	有川勇貴	宗義明
8	令和6年9月 29日(日)	九州 (南部)	ひなた 武道館(宮崎)	投の形	固の形	柔の形	古式の形
				山本三四郎	眞喜志慶治	鮫島元成	宗義明
9	令和6年9月 29日(日)	東海	三滝武道館 (三重)	投の形	固の形	極の形	古式の形
				向井幹博	有川勇貴	道場良久	松井勲
10	令和6年10月 26日(土)	関東	川口市体育 武道センター	投の形	柔の形	五の形	古式の形
				藤中拓馬	内海まゆみ	向井幹博	宇津木俊博

(4) 海外派遣

ア. 本館による短期派遣

- ① 小志田憲一、畠山洋平

ラオス (形セミナー、昇段試験)

令和6年11月14日～11月18日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

- ① 仮屋力、瀧本誠

ボスニア・ヘルツェゴビナ (EJU Hope Cup セミナー、EJU)

令和6年4月18日～4月23日

- ② 上村春樹、鮫島元成、道場良久、仮屋力、有川勇貴、岩永憲門

ボスニア・ヘルツェゴビナ (EJU 形セミナー、EJU)

令和6年6月10日～6月16日

- ③ 中村美里

ポーランド、ハンガリー (EJU Hope Cup セミナー、EJU)

令和6年5月23日～6月4日

- ④ 小俣幸嗣、大辻広文

インドネシア (JUA 形審査員試験、東南アジア選手権大会)

令和6年5月27日～6月1日

- ⑤ 向井幹博

スロベニア (EJU Hope Cup セミナー、EJU)

令和6年6月19日～6月25日

- ⑥ 瀧本誠

トルコ (EJU Hope Cup セミナー、EJU)

令和6年7月18日～7月22日

- ⑦ 中村美里

チェコ (EJU Hope Cup セミナー、EJU)

令和6年10月5日～10月6日

- ⑧ 鮫島元成、大島修次、岩永憲門

ドイツ (ベルリン講道館柔道形セミナー、ドイツ)

令和6年10月17日～10月24日

⑨	瀧本誠 ラトビア (EJU Hope Cup セミナー、EJU)	令和 6 年 11 月 15 日～11 月 16 日
⑩	平野弘幸、大辻広文、田知本遙 オーストラリア (講道館柔道技形セミナー、昇段審査)	令和 7 年 1 月 23 日～1 月 28 日
ウ.	IJF アカデミー への派遣	
①	山本三四郎 ポルトガル	令和 6 年 4 月 8 日～4 月 14 日
②	有川勇貴 イギリス	令和 6 年 9 月 1 日～9 月 8 日
③	仮屋力 イタリア	令和 6 年 10 月 7 日～10 月 13 日
④	眞喜志慶治 ハンガリー	令和 6 年 10 月 21 日～10 月 30 日
⑤	有川勇貴 ハンガリー	令和 7 年 3 月 10 日～3 月 16 日
エ.	海外柔道連盟招聘による本館長期派遣 なし	
オ.	国際交流基金による短期派遣	
①	鮫島元成、山本三四郎、南保徳双、塚田真希、岩永憲門 タイ、マレーシア (講道館セミナー、昇段試験、基金との共催)	令和 6 年 6 月 27 日～7 月 8 日
カ.	本館以外による派遣 (全柔連等)	
①	山本三四郎 アメリカ合衆国 (世界形選手権大会、選手団監督、全柔連)	令和 6 年 11 月 6 日～11 月 12 日
②	岩永憲門 ウズベキスタン (GS タシケント、女子総務コーチ、全柔連)	令和 7 年 2 月 25 日～3 月 4 日
キ.	IJF 諸会議及び大会への派遣	
①	上村春樹、仮屋力 アラブ首長国連邦 (世界選手権大会、IJF 理事会、大会視察、IJF)	令和 6 年 5 月 17 日～5 月 26 日
②	上村春樹、仮屋力 フランス (オリンピック、IJF 理事会、大会視察、IJF)	令和 6 年 7 月 24 日～8 月 5 日
③	上村春樹、仮屋力 アラブ首長国連邦 (GS アブダビ、IJF 技術会議、大会視察、IJF)	令和 6 年 10 月 11 日～10 月 17 日
④	仮屋力 ハンガリー (IJF 形プロジェクト、IJF)	令和 6 年 10 月 25 日～10 月 29 日
⑤	上村春樹、向井幹博、仮屋力 アメリカ合衆国 (世界形選手権大会、大会視察、IJF)	令和 6 年 11 月 6 日～11 月 12 日
⑥	平野弘幸 東京 (GS 東京、審判員、IJF)	令和 6 年 12 月 7 日～12 月 8 日
⑦	小志田憲一、仮屋力 トルコ (IJF 審判セミナー、IJF)	令和 6 年 12 月 14 日～12 月 15 日
⑧	上村春樹、仮屋力 フランス (GS パリ、大会視察、IJF)	令和 7 年 1 月 30 日～2 月 5 日
ク.	IBSA 等諸会議及び大会への派遣	
①	小志田憲一、平野弘幸 ジョージア (IBSA グランプリ、役員、IBSA)	令和 6 年 5 月 15 日～5 月 22 日
②	小志田憲一 タイ (審判セミナー、役員、IBSA)	令和 6 年 8 月 11 日～8 月 15 日
③	小志田憲一、平野弘幸 フランス (パラリンピック、役員・審判員、IBSA)	令和 6 年 9 月 2 日～9 月 9 日
④	小志田憲一 ジョージア (IBSA グランプリ、役員、IBSA)	令和 7 年 3 月 22 日～3 月 27 日

(5) 国際協力機構（JICA）海外協力隊に関わる事業等

ア. JICA 海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）を以下の通り実施した。

① 期 間： 令和 6 年 11 月 11 日～11 月 15 日

受講者： 2024 年度 2 次隊研修生 2 名

松岡 主税 マレーシア

三浦 啓瑚 セネガル

イ. 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員

令和 7 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員は計 8 名であった。

柿澤 史歩 バヌアツ

小原 諒平 コロンビア

門田 優吾 エジプト

小川 翔太郎 セルビア

菊地 友輝 ラオス

柳田 明雄 アルゼンチン

三浦 啓瑚 セネガル

松岡 主税 マレーシア